



第61回日本学生科学賞 内閣総理大臣賞受賞!!

平成29年12月22日(金)~24(日), 日本科学未来館(東京都)で日本学生科学賞(主催:読売新聞社, 共催:科学技術振興機構)中央最終審査が行われ, **内閣総理大臣賞を受賞**しました。

第61回 日本学生科学賞 中央表彰式

主催:読売新聞社 共催:全日本科学教育振興委員会・国立研究開発法人 科学技術振興機構
後援:内閣府、文部科学省、環境省、特許庁 協賛:旭化成



日本学生科学賞は理科教育に基づく中学・高校生の公募コンクールとしては、国内で最も伝統と権威のあるものです。中央審査では全国の地方審査で選出された論文297点(高校146点, 中学151点)を予備審査し, 最終審査に残った40点(高校・中学各20点)について対面審査が行われました。

本校から中央最終審査に参加した物理部は「水溶液境界面の拡散速度の定量化」について研究発表を行い, 22日(金)・23日(土)の2日間, ポスター審査を受けました。会場では審査員の先生に「美しい実験だ」とコメントをいただき, 非常に高く評価していただきました。

最終日の表彰式は, 秋篠宮同妃両陛下ご臨席のもと行われました。表彰式の最後に内閣総理大臣賞の受賞校が発表され, 本校の学校名と研究テーマが読み上げられ, 代表生徒が大きな声で返事をして登壇しました。

表彰式の後には, 秋篠宮同妃両陛下のご内覧が行われ, 研究内容を両陛下に説明できる時間をいただき, 生涯, 思い出に残る発表会になりました。



ポスター発表審査



読売新聞社の取材

先端科学研究講座

平成29年12月22日(金), 本校で先端科学研究講座を開催しました。

九州大学大学院工学研究院より Md. Bodruddoza MIA博士をお招きし, 「Geothermal exploration using satellite remote sensing techniques (リモートセンシング技術を使用した地熱探査)」について講義をしていただきました。

事前にアブストラクトを読み, 日本語での説明を挟みながら, 大学レベル, 学会レベルの英語での講義に挑戦しました。講義終了後, 先生から直接お話を伺う時間を設定し, 英語で交流を行う機会を得ることができました。



先端科学研修 九州大学伊都キャンパス

平成29年12月25日(月), 数理コミュニケーションコース・1年生の先端科学研修で九州大学伊都キャンパスを訪問しました。

基幹教育院助教の小林良彦先生による「量子力学, 科学インタープリテーション」に関する模擬講義や水素ステーションの見学, 工学研究院学術研究院の會津光博先生による「環境DNAについて」の講義および河川実験を体験しました。

生徒の自然科学への興味・関心が増したことはもちろん, 大学やその研究の一端に触れることで, 進路意識の向上にもつながったようで, 大変有意義な一日を過ごすことができました。

